

研究指導の概要

■ 教育学学位プログラム

【課程：博士後期課程】

学年	学期 モジュール	研究内容及び指導方法等	
1 年 次	春	A	<ul style="list-style-type: none"> ・4月会議において入学者1名あたり研究指導委員3名を選任し、指導・助言する体制を整える。
		B	<ul style="list-style-type: none"> ・教育学特論Ⅰを履修する。 ・専門科目から専門研究領域の研究法を履修する。 ・博士論文構想発表会にて、研究計画の概要と研究の進捗状況を発表する（5月）。
		C	<ul style="list-style-type: none"> ・現職者に対しては土日をあてて研究指導委員が質疑・指導する。 ・関連学会で口頭発表を行う。
	秋	A	<ul style="list-style-type: none"> ・投稿形式論文発表会で専門学会への投稿論文の内容を発表し、討議する（9-10月） ・関連学会へ論文を投稿する
		B	<ul style="list-style-type: none"> ・特に優れた業績を上げたものは予備審査の申請を行える。 ・筑波大学教育学系論集に投稿し、査読の上、採択論文を掲載することができる（年2回、10月・3月刊行）。
		C	<ul style="list-style-type: none"> ・研究業績一覧・研究成果報告書を提出する（3月）。
2 年 次	春	A	<ul style="list-style-type: none"> ・教育学特論Ⅱを履修する。
		B	<ul style="list-style-type: none"> ・教育学演習Ⅰを履修する。 ・希望者は教育学演習Ⅱ、フィールドワーク研究を履修することができる。 ・英語論文作成・発表講習会を受講することができる。
		C	<ul style="list-style-type: none"> ・関連学会で口頭発表を行う。
	秋	A	<ul style="list-style-type: none"> ・博士論文中間発表会（投稿形式論文発表会）に参加し、博士論文の構成と内容について発表する（9~10月）
		B	<ul style="list-style-type: none"> ・関連学会論文投稿を行う ・筑波大学教育学系論集に投稿し、査読の上、採択論文を掲載することができる（年2回、10月・3月刊行）。
		C	<ul style="list-style-type: none"> ・研究業績一覧・研究成果報告書を提出する（3月）
3 年 次	春	A	<ul style="list-style-type: none"> ・予備審査申請の条件を満たした学生を対象に、研究指導委員会を設置する（課程博士の審査手続きによる）。
		B	<ul style="list-style-type: none"> ・仮製本論文と主要論文等を提出する。 ・委員が査読し予備審査申請の可否を判定する。
		C	<ul style="list-style-type: none"> <7月の選考会議で承認された場合> ・7月に予備審査会（公開）を開催する。 ・判定会議で学位論文審査会に進むことの可否を決定する。
	秋	A	<ul style="list-style-type: none"> <否とされた場合> ・研究指導委員長より申請者に問題点を伝え、次回申請に備える。
		B	<ul style="list-style-type: none"> <条件付き可とされた場合> ・修正点を文書化して研究指導委員長より申請者に伝える。 以後、研究指導委員会の指導の下で論文を修正し、学位論文審査会に奨。
		C	<ul style="list-style-type: none"> <可とされた場合> 学位論文審査会の申請に進む。